

本草圖譜卷之九目錄

芳草類 四

山蘭

一種

一

春蘭

ふく

秋蘭

らん

三

澤蘭

さくわんぎ

四

一種

紫蒸王の物

馬蘭

らんぎ

五

一種

白花
淡紅花

香薷

いぬえ

六

石香薷

爵牀

いぬかうき

七

假蘇

のえ

八

薄荷

めくさ

九

一種

圓葉薄荷まるはなごけ

石薄荷せきごけ

伊吹いぶき名なかろうろう

積雪草せきせうそう

ほろむくろ

十

蘼そ

のらえ

一種

かごめんあそ

十一

一種

あをあそ

水蘼みづも

あそあそ

十二

薺さい薺ねい

えんえん

石薺せきさい薺ねい

本草圖譜卷之九

東都

岩嶧常平著

芳草類 四

二十二種

山蘭^{やまらん}
一種

圓葉の物あり近年
薩州より來る者あり形
續斷に似て厚く光
澤あり圓茎對生一
寸三尺餘莖紫色
香氣あり花ハ山蘭の
如く微紅色あり



春蘭正誤

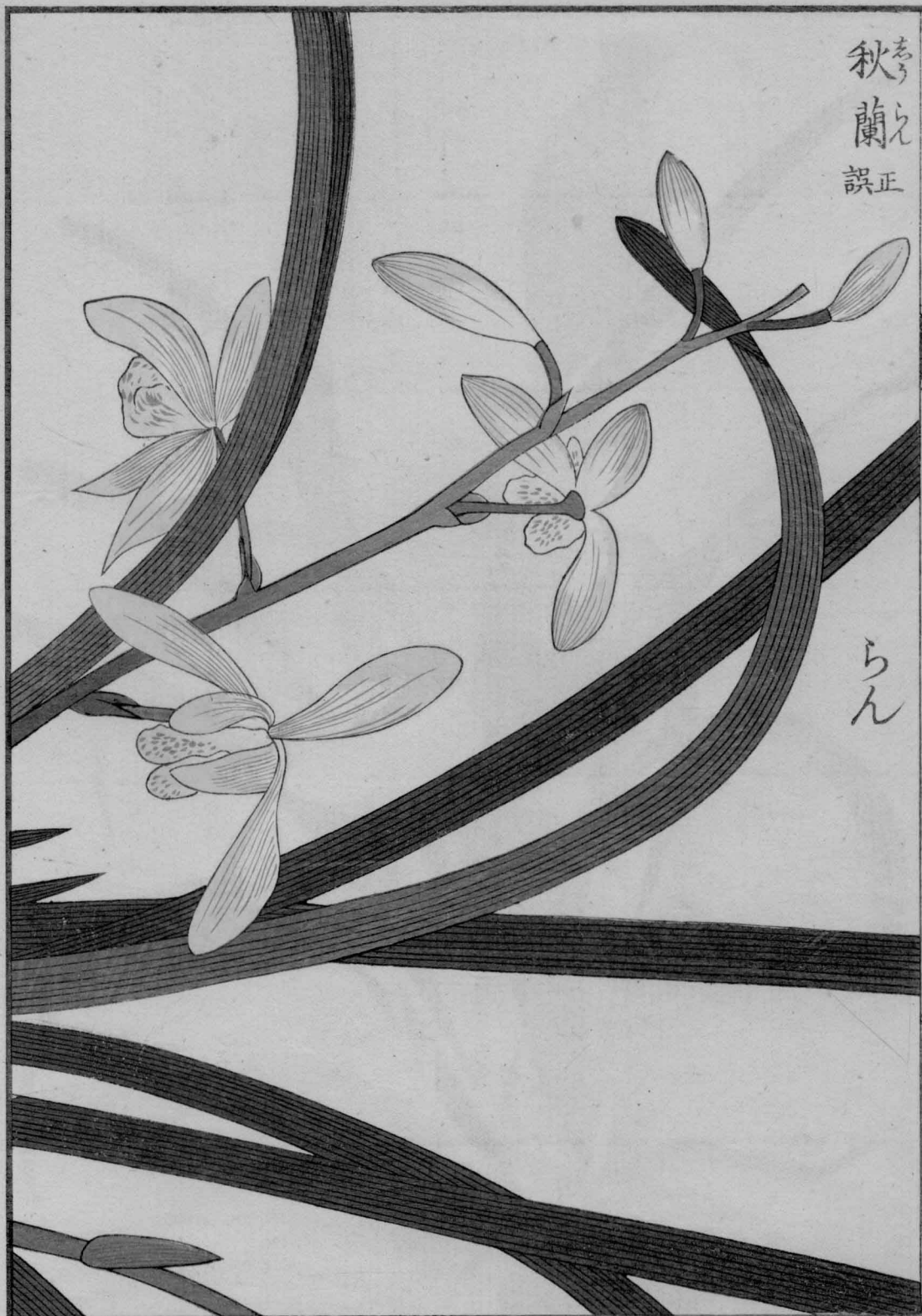
わろ

處々山中ふあり
蒼苔藓門冬雪中
硬く春花を開く
一莖二花形建蘭の如く
根あらく灰白色るう羅
願黃庭堅謂一幹一
花為蘭者指此也



秋蘭^{あきらん}
誤正

らん



朝倉義方云伊豫大洲名産ゆて糸
硬く狭く長し紀州木の本新宮尾就鳥
の産これよ次和歌山より五里許熊野の
近し遠州駿州豆州又次之房州の下品
なりと云秋花を開く香氣あり根は春
蘭より肥し漢土にて此類を集む
書ハ百花録群芳譜等ふ多し和
産も又多しこと又圖説ども別ふ
ありと云畧す



澤蘭 たくらん

さへりき

和本

エウパトリウム

アルビウム

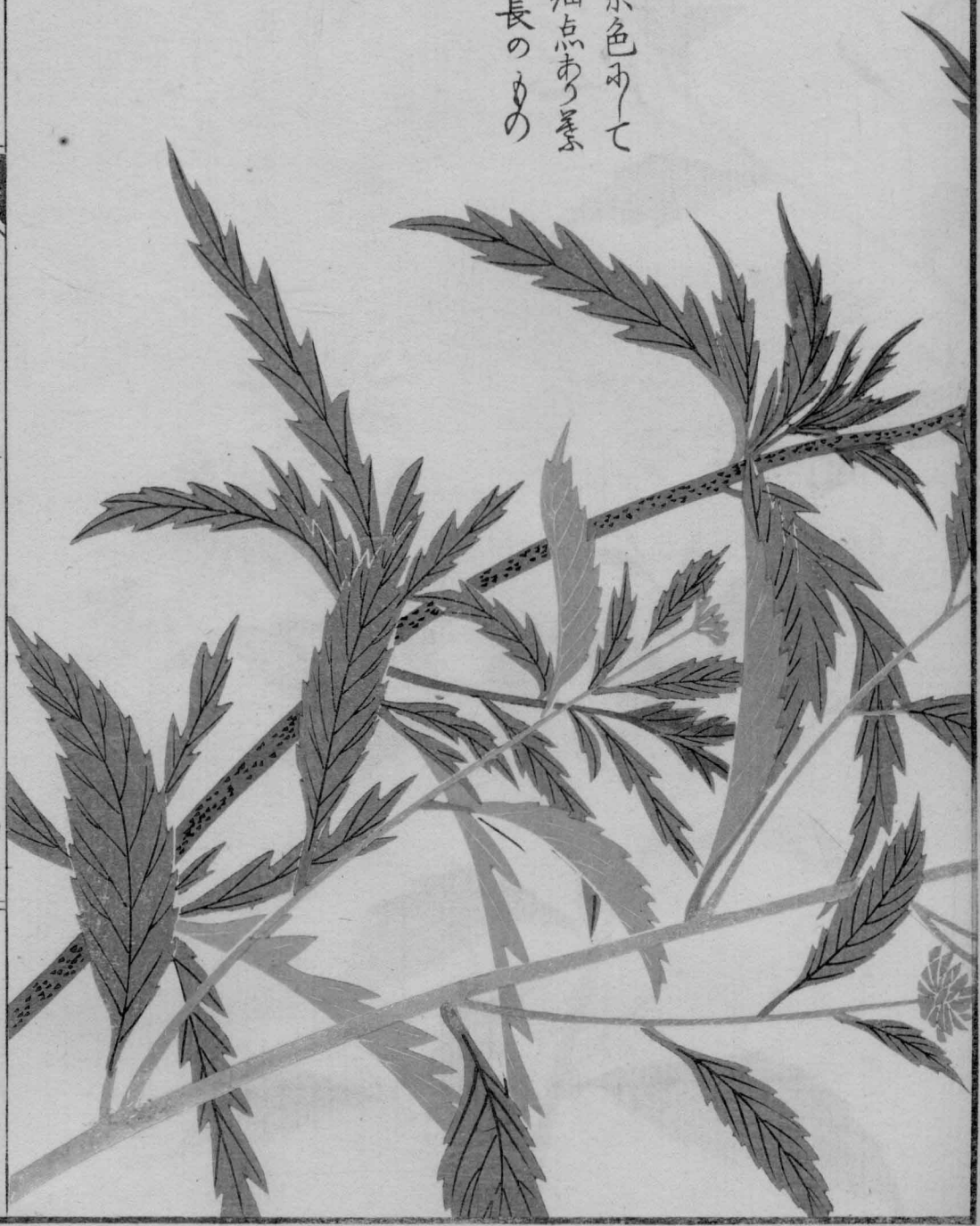
羅甸

今俗よさへりきとて山野ふり宿根より生ずる蘭草に似て狭く六葉對生し
微毛茸あり花も蘭草に似て白色根又蘭草の如し蘓頌の説は葉尖微有毛不
光澤と云ひ是なり



一種

莖紫色ありて
光り細点あり葉
甚狭長のもの
なり



馬蘭ハラン

えきく

人家多栽雞兒腸ハメの
一種ハメの嫩苗微毛茸あり
秋月花あつものふみ似て
紫碧色又淡紅花白
花等あり



新刊
本草
馬蘭

一種 淡紅花の物

一種 白花の物





香薷 かうぢゐ

いぬえ 和名 鈔

山野ふ多し實

より生ずるもの

茎は似て狭く

米り秋月 莖

高さ二尺梢ふ穂をあり小紫花を開く

一方へ曲りて長刀の形をあり故にあきまひ

香薷と云ふ芳焦氣あり薬用すべし

大葉の物ハ下品なり

石香薷 せきかうぢゐ

いそかうぢゐ

山中稀あり形状香薷より

似て小く花白色なり



ノニ 園言
爵牀 あやみ草

いぬかうぢ

又尾州にてあやみ草といふ
海邊湿地に多し苗秋生
冬を経て春月莖さ二尺
許葉ハ苺葉カランに似て皺あり
穂長く紫蘂に似て淡紫
色氣臭く味苦し夏の末
苗共は枯る





假かそ蘼

のえ本草和名

處より多し春月實を
下して生ずる細長五尖
なり方莖對生一莖高
二三尺穂とるく淡紫色の
小花と開く香氣あり



